

# 「郷土の先賢展 とやまを拓いた女性たち」

4月13日(水)～6月12日(日)



SDGsの実現に向けた行動がより一層求められるこの時にあたり、多様性を認め合う社会の実現に向け、ふるさと富山を、そして日本・世界を支えようと尽力した女性の先賢17名の業績や生き方を、その肖像写真等を通して紹介しました。



・地元富山からこのような素晴らしい功績をあげた方々がいらっしやるのが分かりました。そして、素晴らしい人でありながら、悩み、苦しむ時期があったと分かり、勇気を頂いた気持ちになりました。子供たちや若い方々にぜひ見てほしいなあと思いました。

# 「とやまの教育史料 青い目の人形展」

6月15日(水)～7月10日(日)



多様性を認め合う社会や国際平和を希求する声が高まる今、県内に現存する「青い目の人形」7体を一堂に展示。広く紹介するとともに、人形に込められた先人たちの願いに思いを巡らせ、その今日的意義を考える機会としました。新聞等でも多く取り上げられ、多くの方が参観されました。



・青い目の人形が、平和のために送られていたことは知らなかった。平和を考えて語り合う事は大事だ。  
 ・知識として知っていましたが、実物を目にすると、より心に迫ってくるものがあります。  
 ・自分や子供たちの母校にも贈られていたことを初めて知りました。学校でも是非取り入れてほしいと思いました。一人でも多くの子ども心に、人形たちが無言で伝えるメッセージが残りますように。